

科目名	専門職連携演習	対象学年・時期	3年・前期
講師	非常勤講師および専任教員	単位数・時間数	2単位・30時間
講義概要	<p>今日まで看護基礎教育における「看護の現場」は医療施設が中心であった。しかし、わが国の医療は少子高齢化を背景に病院完結型から地域包括型へ転換され、「地域包括ケアシステム」の構築が推進されている。対象の健康レベルがどの段階にあっても、在宅を視野に入れた地域包括ケアシステムの中で活躍できる看護職の需要は大きい。そのような中で、看護職の役割は多様化しており、ケアの中心にいる患者や療養者およびその家族が「生活の質（QOL）」の維持・向上が図れるよう、他の専門職と連携・協働する能力の獲得が求められている。この専門職との連携・協働にあたって看護職は自らの役割と限界を正しく認識し、対象の自己実現のために提供できるサービスを創造する柔軟な思考と能力が求められる。</p> <p>そこで、社会福祉士と看護職という2つの専門職の課程を学ぶ学生間での協同学習をとおり、対象の課題解決のための協働とケアの質を改善する方略を学ぶ。</p>		
授業形態	講義・グループワーク・プレゼンテーション		
学習目標	1. 各専門職の役割と責務について、専門職間で共有することができる 2. 専門職間でのコミュニケーション力を身につけることができる 3. 対象者志向の倫理観を持つことができる 4. 専門職間で対象者の目標を共有することができる 5. 対象者の目標達成・ケアの質向上にむけて深く考えることができる 6. 多職種協働・協働にむけての展望を共に語ることができる		
授業計画	< 内容 >		< 授業場所 >
	1回目 ガイダンスー演習のねらいと目的 2回目 看護師の職制と業務ー看護師の役割と免許		酒田市立酒田看護専門学校
	3回目 社会福祉士の職制と業務 ー社会福祉士の役割と免許 4回目		酒田市立酒田看護専門学校
	5回目 6回目 7回目 8回目		酒田市立酒田看護専門学校
	9回目 10回目 11回目 12回目	未定	酒田市立酒田看護専門学校
	13回目～15回目（合同授業） 事例1 グループワーク・発表会 教員講評 グループ毎のリフレクション・まとめ		酒田市立酒田看護専門学校
使用テキスト	特に用いない。適宜資料を配布する。		
事前・事後学修	適宜、講義内で提示します。		
評価基準および評価方法	ループリックに基づくパフォーマンス評価		
備考	グループワークが主体の授業です。メンバーとしての役割を果たし積極的に参加しましょう。 未定の部分については、別途提示します。		